

西番一郎 にしばんいちろう 倫理學者、文學博士。明治六年二月、千九百鳥取

縣生れ、昭和十八年十一月十二日歿（八七—一九四三）。號廣陵。東京帝

國大學文科大學哲學科卒。明治三十五年廣島高等師範學校教授、昭和

四年廣島文理科大学教授となり國體學講座を擔當。また同大附屬圖書

館館長、國民精神文化研究所所長を務めた。東亜道德の折衷を試み、

西田幾多郎、小西重直と共に「三西」と稱せられた。

著書に『普遍への復帰と報酬の生活』（大正九年八月十五日日本社）、

『倫理學の根本問題』（大正十一年十一月二日岩波書店）、『教育と

道德』（大正十一年十一月十日大村書店）、『實踐哲學概論』（昭和

五年八月十日岩波書店）、『忠孝論』（昭和六年十月二十日岩波書

店）、『歴史と教育』（思想問題研究会編、昭和八年七月五日青年教

育普及會）、『東洋倫理』（昭和九年四月五日岩波書店）『岩波全書』、

『教學と思想統一』（昭和十年二月十六日國民精神文化研究所「國民

精神文化叢書」）、『日本國體』（昭和十年十一月二十日日本文化協

會出版部「憲法教育資料」）、『代表者としての日本精神觀』（磯野清共著、

昭和十一年一月五日明治圖書株式會社）、『教學と學藝』（昭和十一年

九月六日國民精神文化研究所「國民精神文化叢書」）、譯註『大極

圖說・通書・曲銘・止蒙』（小糸夏次郎共譯註、昭和十二年四月五日

岩波書店）『岩波文庫』（）、『尊徳・梅岩』（昭和十二年七月五日岩波

書店）『大教育家文庫』（）、『東洋道德研究』（昭和十五年一月二十一日

岩波書店）、『禮の意義と構造』（小糸夏次郎共著、昭和十六年九

月二十五日國民精神文化研究所）、『國民道德大意』（昭和十六年十

二月二十一日教育旬編）、『人間即國家の説』（昭和十九年八月十五

日明世堂書店)、
『教育勅語衍義』(昭和十九年九月)二百頁 朝倉書
店)、
『チマイオスとパルメニアス』(昭和二十二年八月)二百頁大
阪・カホリ書房『西晋一郎著作集』()等。
繩田二郎著『西晋一郎先
生の生涯と哲學』(昭和二十八年一月十日、改訂・七月)二百五頁 理想
社)刊。